

小学部「国語」学習指導案

1. 日時 令和7年10月23日(木) 第2時限(10:00~10:40)
2. 場所 小学部第5学年 1組教室
3. 学部・学年・組 小学部 第5・6学年(まっちゃケーキグループ) 5人(男子2人・女子3人)
4. 単元(題材)名 「物語を読んで考えてみよう」

5. 単元(題材)目標

- ・漢字やひらがな、カタカナを正しく読み物語のリレー読みをすることができるようにする。
【知識及び技能】
- ・物語を読んで場面の様子や登場人物の感情について、想像することができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
- ・自分の考えを友だちに伝えたり、友だちの発表に興味関心をもって聞こうとしたりする態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】

6. 児童観 【略】

7. 教材観

本グループの国語の授業では、夏季休業前まで日本昔話「桃太郎」の物語の音読をしたり、内容を時系列に並べたり、劇遊びをしたり、一つの物語を通して様々な学習に取り組んできた。音読では、日本昔話ならではの言葉遣いに親しみをもち、楽しんで読み進めることができた。まだ、ひらがなやカタカナだけの文章でも、止まったり読み間違えたりする児童もいるが、リレー読みの活動では、グループで決めたルール(句点で交代)を概ね守り、自分が読むべき場所を読むことができるようになってきている。

本単元では、授業の最初にアイスブレイクを兼ねて、語彙を増やす学習「言葉集めゲーム」に取り組む。言葉集めゲームでは、5年生と6年生がペアになり話し合いながらテーマに沿った単語を書き出していく活動に取り組む。本グループには、日常生活に関する語彙が少ない児童もいることから、身近なこと(食べ物や色、果物など)をテーマにすることで、日常生活で役立つ単語をたくさん知る機会になると考える。また、ゲーム性をもたせペアで活動に取り組むことで、語彙が少なく上手く自分の考えを相手に伝えることができない児童も、楽しんで活動に取り組めると思われる。この活動を通して、他者の話を聞く力を身に付けさせたい。また、新しい言葉を知ることによって語彙が増え、自分の思いや考えを伝える幅を広げていけると考える。

8. 指導観

本グループでは、月曜日と木曜日の授業で内容を変えて取り組んできた。月曜日には文法や文章の書き方に重点を置いて取り組み、木曜日には物語の本読みや内容理解、劇遊びに取り組んできた。本単元でも、夏季休業前から取り組んでいた授業の流れ(月曜日の授業内容と分けることや、国語的な要素を取り入れたゲーム、物語の本読み、内容理解)で取り組んでいくことで、新しい活動内容への不安感を軽減させたい。

第一次、第二次ともに言葉集めゲームでは、児童同士のコミュニケーションを大切にするために、ペア活動を取り入れて行う。グループの実態として、一人で考えるのが苦手な児童や、他者の話を聞かずに活動を進めてしまう児童がいる。ペア活動を取り入れることで、相手の話をきちんと聞いて一緒に考える力や、自分の考えを相手に伝える力を身に付けさせたい。また、グループの児童全員が興味のあるテーマを設定することでペアでの活動時に大きな差が出ないように配慮する。

日本昔話「おむすびころりん」では、夏季休業前からの学習してきた事を生かして授業を進めてい

きたい。第一次の本読みでは、夏季休業前は一斉読みに取り組んできたので、難易度を上げてリレー読みに取り組んでいく。そのために、活動前には約束事として、“大きな声で、ゆっくりと読む”ことや“しっかりと友だちが読んでいる時にも、文字を目や指さして追いかける”ことを毎時間伝えるようにする。また、登場人物の感情を考える場面では、“自分がおじいさんならどう感じるか”や“自分がねずみならどんな気持ちになるか”など、その登場人物に自分を重ねて考えるように指導していく。今まで自分が経験してきたことを思い出したり、その経験で感じたことを照らし合ったりして考えられるような言葉かけを行っていききたい。

第二次では、音読劇に取り組み、文章の読み方や声色などで物語を表現できるように指導していききたい。第二次からは、教員が音読する際には、大きな声でゆっくりと読むのではなく、登場人物の感情や場面に合わせた声の大きさや、読むスピードなどに気付けるよう工夫した読み方の手本を示すようにする。その中で、児童たちが自分で考えて工夫しながら音読劇ができるように、グループで話し合いながら進めていく。

授業後には、T T間で授業の振り返りを行い、児童の反応や躓きについて共通理解を図り、個々のねらいに沿った支援、指導方法を模索していくことも大切にしたい。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①テーマに沿った言葉を考えることができる。	①テーマについて考え、自分の意見をペアの友だちに伝えることができる。	①ペアの友だちに自分の考えを伝えたり、友だちの意見を聞いたりして、積極的に意見交換をしようとしている。
②漢字やひらがな、カタカナを正しく読むことができる。	②場面の様子を思い浮かべながら、物語カードを正しく並べることができる。	②自分の意見との相違点に注目しながら、発表を聞こうとしている。
③友だちが読んでいる場所を目や指さして追いながら、自分が読む場所を理解して読むことができる。	③登場人物の感情について考え、自分なりの言葉で表現しようとしている。	

10. 単元の指導と評価の計画（全 11 時間、本時は第 5 時）

次	時	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
一次	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8	1. 語彙を増やす学習 「言葉集めゲーム」 ・テーマについての言葉を3分間考える。 ・ペアで相談しながら、単語を紙に書きだす。 ・書き出した単語の数をペアの友だちと一緒に数える。	・前時の授業終わりに、グループで全員が参加できるテーマを決めるようにし、答えの数に大きな偏りがないようにする。 ・自分の意見を伝えるのが苦手な児童や、答えを考えて伝えるのに時間がかかる児童がいるので、ペア決めでは児童同士の相性を考慮する。 ・児童同士が自分の意見を伝え合えるように、教員が各ペアに一人ずつついて、活動の様子を見守ったり、必要に応じてヒントを出したり、やりとりの仲立ちをしたりする。	A① (様子) B① (様子) C① (様子)

		2. 物語を読もう 「おむすびころりん」 ・自分が担当する場所を理解して読む。 (リレー読み) ・友だちが読んでいる時には、目読をする。 ・物語の内容を理解し、お話カードを並べる。 ・登場人物の気持ちを考えて、自分なりの表現でワークシートに記入する。 ・前に出て、自分の考えを発表する。 ・同じ場面の物語をもう一度読む。	・自分で物語を読み進められるように、児童一人ひとりにあった、プリントを用意する。 ・リレー読みをする際は、事前に本読みのポイント(大きな声で読む、ゆっくりと読む)を伝える。 ・友だちが読んでいる時にも、文章を目や指さしで追いかけるよう、伝える。 ・物語を簡潔にまとめたお話カードを用意し、児童が自分たちで考えて時系列に並べられるようにする。 ・一人一枚のワークシートを用意し、自分なりの言葉で考えて記入できる時間を確保する。 ・発表する際には、児童が記入したワークシートをモニターに映し、児童の考えを共有できるようにする。 ・友だちが読んでいる時にも、文章を目や指さしで追いかけるよう、伝える。	A② (様子) B② (ワークシート) C② (様子)
二 次	9 10 11	1. 語彙を増やす学習 「言葉集めゲーム」 ・テーマについての言葉を3分間の間考える。 ・ペアで相談しながら、単語を紙に書きだす。 ・書き出した単語の数をペアの友だちと一緒に数える。 2. 音読劇をしよう 「おむすびころりん」 ・自分がやりたい役割を決める。 ・決まった役割の台詞を読む練習をする。 ・読み方を工夫して、自分の台詞を読む。	・前時の授業終わりに、グループで全員が参加できるテーマを決めるようにし、答えの数に大きな偏りがないようにする。 ・自分の意見を伝えるのが苦手な児童や、答えを考えて伝えるのに時間がかかる児童がいるので、ペア決めでは児童同士の相性を考慮する。 ・児童同士が自分の意見を伝え合えるように、教員が各ペアに一人ずつついて、活動の様子を見守ったり、必要に応じてヒントを出したり、やりとりの仲立ちをしたりする。 ・自分の役割がわかりやすいように、役割ごとに色を分けたプリントを用意する。 ・事前に教員が手本(気持ちにあった声色や声の大きさなど)を示し、手本を参考に考えてみるように言葉かけする。 ・自分が演じる役の台詞を読んで、その時の気持ちやこういった読み方をするのかなどを考える時間を設定する。	A① (様子) B① (様子) C① (様子) A② (様子) C② (様子)

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・黙読と音読を繋げて、児童同士でリレー読みをすることができる。【知識及び技能】
- ・ペアの友だちと意見を交換しながら、より多くの単語をみつけることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
- ・登場人物の気持ちを考えて、自分なりの言葉や表現で書くことができる。
【思考力、判断力、表現力等】

(2) 本時の評価規準

- ・友だちが物語を読んでいるとき、目や指さし等で文字を追い、自分が読むべき場所を理解して読んでいる。【知識・技能】（A③）
- ・ペアの友だちに自分から意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりしながら、協力して活動に取り組んでいる。【思考・判断・表現】（B①）
- ・登場人物の気持ちを考え、教員が尋ねた際に言葉で伝えたり、ワークシートに自分の言葉で記入したりしている。【思考・判断・表現】（B③）

(3) 児童の実態と本時の目標 【略】

(4) 本時のICT活用のポイント（活用のねらい、工夫する点）

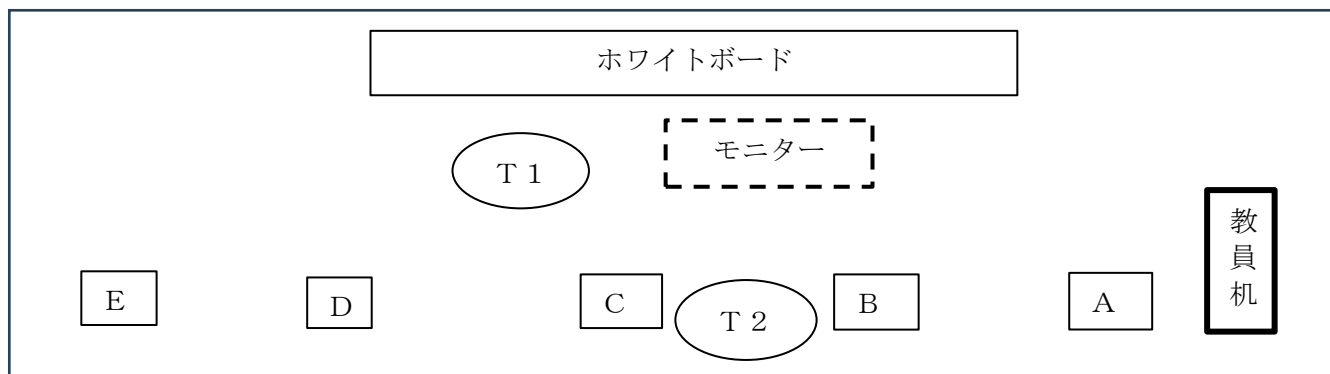
- ・授業の流れをモニターで提示する。
→活動全体の流れを、グループ全員で共通認識するために利用する。また、活動に関連するイラストも一緒に提示し、見通しをもちやすくする。
- ・ルールや、本読みのポイントをモニターに提示する。
→活動中に、ルールや本読みのポイントを常に掲示し、自分たちで確認できるようにする。
- ・個人で考えたワークシートをモニターに映し、全員で共有できるようにする。
→言葉での発表だけでなく、ワークシートをモニターに映すことで、しっかりと自分の考えとの相違点について考えることができるようにする。

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
13分 導入	○集合 ・決まった席に座る 1. 挨拶 ・その日の日直が、前に出て挨拶をする。 2. 予定確認 ・本時の学習の流れを確認する。 3. 言葉集めゲーム ・決められたテーマやルールに沿った言葉をペアの友だちと一緒に探す。	・授業に集中しやすい環境で学習に取り組めるように、児童の席順や周りの環境に配慮する。 ・前に立つ児童に注目するように、言葉かけをする。 ・本時の予定をモニターに示して一つずつ確認し、見通しをもって授業に参加できるようにする。 ・活動内容へのイメージをもちやすくするために、今までに取り組んできた内容を簡潔に伝える。 ・前時の授業終わりに、グループで決めたテーマを題材に設定する。 ・ペアを決める際には、児童同士の相性を考慮して組むようにする。	B① (様子)

	・多く点数を取ったペアの勝ちということ意識して、多くの言葉を集める。 ・活動の振り返りを行う。	・教員が各ペアに一人ずつつくようにし、活動の様子を見守ったり、必要に応じてヒントを出したりする。 ・活動中の良かった点を具体的（ペアの友だちの話をよく聞いていた場面や、二人で相談していた場面など）に伝える。	
25分 展開	4. 物語を読んで考えよう ・「おむすびころりん」の物語を、リレー読みする。 ・物語の内容を、お話カードを使って確認する。 ・登場人物の気持ちについて考えて、紙に書く。 ・前に出て発表する。 ・同じ場面の物語を再度、リレー読みする。 ・活動の振り返りを行う。	・児童一人ひとりにあった、物語のプリントを用意する。 ・リレー読みをする際には、事前に本読みのポイント（大きな声で読む、ゆっくりと読む）を伝える。 ・物語を簡潔にまとめたお話カードを用意し、児童が自分たちで考えて時系列に並べられるようにする。 ・一人一枚のワークシートを用意し、自分なりの言葉で考えて記入できる時間を確保する。 ・発表する際には、児童が記入したワークシートをモニターに映し、児童の考えを共有できるようにする。 ・物語の情景を思い浮かべながら、読み進めるように伝える。 ・活動中の良かった点を具体的（リレー読みでは大きな声のでていたや、友だちが聞き取りやすい声の大きさを発表することができたなど）を伝える。	A③ (様子) B② (ワークシート)
2分 まとめ	5. おわりの挨拶 ・その日の日直が、前に出て挨拶をする。	・前に立つ児童に注目するように、言葉かけをする。	

(6) 教室配置等（正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す）



*言葉集めゲームの活動時

